

No4 教室から出ていきがちの子への対応

座ってられない、教室から飛び出すなど行動面の問題は、学級経営上大変気になる内容です。

これらは、注意欠陥多動性障害（ADHD）や自閉症の一つの特徴である<多動性>に起因することが多く、親のしつけの悪さとか、病気などではありません。このような行動を示す子は、担任や友だちからの評価が低くなりがちため、学習意欲が失われたり、自信喪失、反抗的行動といった二次的な問題につながる場合もあり、きめ細かな配慮が必要です。

突然教室から出てしまう、授業をやらずに床に座っていたり、フラフラと出て歩いたりする

- ・注意集中を持続することが難しく、イライラしてくる。
- ・課題がうまく出来なかったり、何をやるかわからなかったりして嫌になり、投出してしまふ。
- ・教科によっては内容に興味が全くなかったり、変更などがあると落ち着かなくなったりする。等

- <環境の整備> ・注意集中が途切れるようなもの（例、図鑑、水槽等）はなるべく座席のそばに置かない。周囲の児童が気になる場合は、机を集団から離すなど周りの環境を統制する。
- ・どうしてもイライラする時は教室に過ごしやすい場所を設け、休憩タイム 分とか1時間に 回までとか、約束を決めて休憩する。
 - ・自分から許可を得て決められた場所に出て行けるようにする。
- <課題の工夫> ・5分位なら座っていられるならば、5分間でやれる課題をいくつか用意しておく。アニメキャラクターや虫などが好きな子には、イラストをつけて課題を用意するなど「これならやりたい」「これならできる」という課題を工夫する。また、これだけはやって休憩しようという縛りを少しずつつけていくようにする。

- ・行動のコントロール力が十分に育っていない。
- ・目立つ行動をすると、自分に注目を引き付けることが出来た経験から「自分を見て欲しい」「自分にも関心を示して欲しい」というメッセージを動き回る、寝ころぶなどで表してしまう。等

- <行動目標の設定> ・スモールステップで目標行動を設定し、守れたら褒めることでその子を認めていくようにする。飛び出しについては、よい行動でないことを伝え、飛び出る際の手続きや戻るまでのルールなどを根気強く教えていく。全職員の理解を得て、行き先や相手をしてくれる人を確保しておく。（校内支援委員会を活用）
- ・約束は、分かり易い言葉で、カードなどに書いておき、本人も見確認できるような評価を工夫する。（約束のカード 別紙参照）

- ・注意されるとおもしろくなく、反抗的な態度をとる。暴言、乱暴な行動をする。等（二次的な問題）

- <信頼関係づくり> ・子どもの問題行動に対応する場合、きつい注意や叱責では良い効果は得られません。子ども自身が納得してルールを守ろうとする気持ちが必要です。「この人が言うのなら聞いてみよう」「約束したようにやってみよう」という大人に対する信頼感が大きな素地になります。
- ・何よりも、自分でも本当はうまくやりたいのに、そう出来ない子どもの苦しさ・つらさを理解しようとする気持ちや、うまくいかない子でもいいところはあるよ、大好きだよ、とメッセージを伝えていくことが大切です。（本人も周囲の子も敏感に感じます）
 - ・ただし、周囲へ危害を及ぼすような状況では、まず、周囲と切り離すことが優先されます。



<指導のポイント>

- ・このようなお子さんへの対応は、学校と保護者とが信頼し合って一緒に考えていくことが何よりも大切です。また、クラスの中で「役立っている」という有能感を持たせてあげることも必要です。
- ・場合によっては相談・医療機関等と連携し、薬などを飲むことで、「こんなに落ち着いてできる さん」を、本人にも周囲の子にも意識させることができ、自己否定感、二次的な問題行動を予防することができます。

(別紙)

約束のカード例

例1)

約束 1時間のうち、席をはなれていいのは
(3)回まで

(3回までで がまんができればシール!)

月 日() ~ 月 日()

月 日	時間目		シール
月 日	時間目		シール
月 日	時間目		シール
月 日	時間目		シール
月 日	時間目		シール
先生の励ましのことば			ご褒美

毎日5時間すべてチェックというのは、子どもも教師もつらいものです。教科によっては、席をはなれてよい時間もあります。できる範囲で・・・

何回まで、何分間などの具体的な約束(目標)は、児童と一緒に決めると本人も納得しやすくなります。はじめは、「これならできる」というくらいのところから増やしていきましょう。

青・黄・赤などのシールやペンなどでチェックしていきます。教師がつけるか、本人がつけるかは、話し合っておくと良いでしょう。

1時間の離席が、(3回)以内でコントロールできたら、シール(本人の好きそうなもの)を貼ってあげましょう。

良い行動の強化を図るため、「5枚ご褒美シールが集まったら、しようね!」など、見通しのもてる目標を持たせることも効果があります。

例2)

約束 「これだけはやろう」 はやれたかな? 1日3回 できたらチェック

月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	
()時間目 プリント2枚	()時間目	()時間目	()時間目	()時間目	
()時間目 漢字ドリル1P	()時間目	()時間目	()時間目	()時間目	
()時間目	()時間目	()時間目	()時間目	()時間目	
チェック					